

4.2 交通システムの問題点・課題

(1) 各交通システムの現状と課題

二本松市内の公共交通の現状と課題について次頁より交通システム別に整理する。

1) 路線バスの評価

	内容		現状と課題
① 路線	生活バス路線	23 系統	計 25 系統 ・主に各地域より二本松地域中心部や安達地域中心部を結び運行している。 ・全地区に広く運行しているが、バス路線から大きく離れた地区が存在する。
	自治体路線バス	1 系統	
	廃止代替バス路線	1 系統	
② サービス 水準	往復 10 本以上	3 系統	・一日往復 10 本以下の系統が多数存在しており、サービス水準は高くはない。(各地域の中心部など、複数系統の運行のため、運行本数が高い地区も存在する。)
	往復 8～9 本	10 系統	
	往復 6～7 本	6 系統	
	往復 5 本以下	5 系統	
(いずれも平日の運行)			
③ 利用状況	一日 300 人以上	1 系統	・利用状況は半数以上が一日 99 人以下であり、一日 49 人以下の系統も 8 系統存在する。
	一日 100～299 人	2 系統	
	一日 50～99 人	14 系統	
	一日 49 人以下	8 系統	
(2 章データ参照)			
④ 利用者の 満足度	「バス停」「行き先」については満足度が全体として高い。 「運行本数」「運行時間」「料金」については満足度が低い。		・路線バス利用者の「バス停」や「行き先」の満足度は比較的高いが、「運行本数」、「運行時間」「料金」といったサービス水準についての満足度が低い。
⑤ 非利用者の 理由	「自分でマイカーを運転するから」が最も多く、その他、「バス停が遠い」「利用したい時間に運行していない」との意見も多い。		・非利用者の理由は「自動車の利用」が多数であったが、サービス水準については「バス停」や「運行時間」についての意見が多い。前述の利用者については「バス停」の満足度は高かったことから、バス停から近い人のみが路線バスを多く利用している状況である。
⑥ 市の財政 負担状況	生活バス路線	82,942,770 円	・路線バスへの市の財政負担は年間約 9 千万円となっている。 ・路線によっては一路線あたり年間 100 万円前後から 1,000 万円前後まで、負担状況は異なる。
	自治体路線バス	6,436,000 円	
	廃止代替バス路線	1,435,261 円	
	合計	90,814,031 円	
(※一人一回利用当たり換算負担額 133.6 円)			
⑦その他			・鉄道とのスムーズな接続等、ダイヤに若干課題あり。

※2章データに基づき、年間利用者数を試算のうえ、一人一回利用当たりの換算負担額を算出

年間利用者数 (生活バス路線一日 1,773 人×365 日+自治体バス路線年間 18,884 人+廃止代替バス路線年間 13,599 人)

2) ようたすカーの評価

	内容	現状と課題								
① 路線	二本松地域のみでの運行（2コース運行）	<ul style="list-style-type: none"> 二本松地域のみでの運行であり、高齢者等を対象としたドアツードア型の福祉的交通サービスである。 二本松地域の郊外部から中心部を結び運行している。 二本松地域内は広く運行しているが、対象者が高齢者等に限られる、運行地域が二本松地域に限られる、他地域においては同様の交通システムがないなどの課題がある。 								
② サービス水準	1コースあたり5往復	<ul style="list-style-type: none"> デマンド交通であり一日往復5本の運行である。 時間は通院ニーズ等に対応しており、8:00～16:00の運行である。 								
③ 利用状況	年間10,280人 1日あたり平均42.1人利用 (登録者数1,577人)	<ul style="list-style-type: none"> 1日当たり42.1人の利用、1便あたりでは平均2.1人の利用である。 朝の通院時間帯等は需要が多く、満員となるケースがある(乗合タクシーのため定員は10人程度である) リピーター(固定利用)が多数である。 								
④ 利用者の満足度	「料金」については満足度が全体として高い。 「待ち時間」については満足度が低い、乗合タクシーの性格上仕方ないと感じている。	<ul style="list-style-type: none"> 「待ち時間」についての満足度が低い、仕方ないと感じている。到着時間の確実性も他のバス交通に比べれば劣るため、鉄道駅利用など時間厳守とすべき際は利用しにくい。 								
⑤ 非利用者の理由	ようたすカーの登録者であって利用していない人の理由としては「利用したい時に直ぐ来ないから」、「行き先の時間が指定できないから」が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の満足度の傾向と同様に、非利用者はようたすカーの時間の不確実性の懸念から利用していないケースが多い。 								
⑥ 市の財政負担状況	<table border="1"> <tr> <td>支出</td> <td>12,642,652円</td> </tr> <tr> <td>収入</td> <td>3,307,500円</td> </tr> <tr> <td>差額(支出-収入)</td> <td>9,335,152円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(一人一回利用当たり換算負担額908円)</td> </tr> </table>	支出	12,642,652円	収入	3,307,500円	差額(支出-収入)	9,335,152円	(一人一回利用当たり換算負担額908円)		<ul style="list-style-type: none"> ようたすカーの市の財政負担は年間930万円、1コースあたり500万円程度となっている。
支出	12,642,652円									
収入	3,307,500円									
差額(支出-収入)	9,335,152円									
(一人一回利用当たり換算負担額908円)										
⑦ その他	平日のみの運行 高齢者や障害者等に利用が限られる	<ul style="list-style-type: none"> 平日のみの運行であり、利用者も高齢者等に限られる。 								

3) ひょうたん号の評価

	内容	現状と課題
① 路線	岩代地域のみでの運行（曜日替わり路線）	<ul style="list-style-type: none"> ・岩代地域のみでの運行であり、通院の不便を解消するための交通手段である。 ・岩代地域の郊外部から中心部を結び運行しているが、曜日替わり路線設定である。 ・岩代地域内は広く運行しているが、運行地域が岩代地域に限られ、他地域においては同様の交通システムがないなどの課題がある。
② サービス水準	1 路線あたり往復 2 本(曜日替わり路線)	<ul style="list-style-type: none"> ・一日あたり午前 1 往復、午後 1 往復の運行である。(運行本数が少ない) ・時間は通院ニーズ等に対応しており、8:00~17:00 の運行である。 ・1 車両での往復運行および本数が限られることから、往復利用が困難である。
③ 利用状況	年間 9,217 人 1 日あたり平均 37.5 人利用 (1 便 (片道) あたり 9.4 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・1 日当たり平均 37.5 人の利用、1 便 (片道) あたりでは平均 9.4 人の利用である。
④ 利用者の満足度	利用者の満足度は各評価項目とも高く、現状に満足している。ただし、「本数が少ないので増やして欲しい」の満足度は比較的低い。	<ul style="list-style-type: none"> ・無料のサービスであり、現状の満足度が全体的に高い。 ・「運行本数」については、比較的満足度が低い。
⑤ 片道利用者の理由	片道利用者の理由としては、「ちょうどよい時間帯にバスがないから」が最も多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度の低い運行本数にも関連するが、運行本数が少ないことから、往復利用が困難である。
⑥ 市の財政負担状況	4,348,240 円/年間 (一人一回利用当たり換算負担額 409 円)	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうたん号の市の財政負担は年間 450 万円程度となっている。
⑦その他	平日のみの運行	<ul style="list-style-type: none"> ・平日のみの運行である。

4) スクールバスの評価

	内容		現状と課題
① 路線	二本松地域	杉田小（杉田幼）1 路線	<ul style="list-style-type: none"> 二本松市内 8 校において計 14 路線のスクールバスが運行されている。隣接する幼稚園への園児の送迎もあわせて行っている。 岩代地域は 4 校 9 路線と最も多く、次に東和地域において 2 校 3 路線の運行である。 運行距離は二本松地域、安達地域は 5～6km であるが、東和地域、岩代地域はやや遠距離運行である。
	安達地域	渋川小（渋川幼）1 路線	
	岩代地域	小浜小（小浜幼）・新殿小（新殿幼）3 路線	
		旭小（旭幼）3 路線 岩代中 3 路線 計 9 路線	
	東和地域	東和中 2 路線 木幡二小 1 路線 計 3 路線	
合計 14 路線			
② サービス水準	運行回数はいずれも 2～3 回である		<ul style="list-style-type: none"> 運行回数は行き帰りをあわせて一日 2～3 回程度である。
③ 利用生徒数	二本松地域	14 人（うち 7 人園児）	<ul style="list-style-type: none"> 利用生徒数は全体で 456 人である。 二本松地域、安達地域は 10 人前後であるが、東和地域は 148 人、岩代地域は 285 人と多数である。
	安達地域	9 人（うち 1 人園児）	
	岩代地域	285 人（うち 38 人園児）	
	東和地域	148 人（うち 7 人園児）	
	合計 456 人（うち 43 人園児）		
④ 市の財政負担状況	二本松地域	4,907,700 円	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスの市の財政負担は年間約 5,900 万円となっている。 路線数および生徒数の多い岩代地域が最も多く、年間約 2,900 万円の負担である。
	安達地域	1,774,071 円	
	岩代地域	29,029,383 円	
	東和地域	23,592,742 円	
	合計 59,303,896 円 (一人一年当たり換算負担額約 130,052 円)		

5) 学童保育タクシーの評価

	内容		現状と課題
① 路線	二本松地域	杉田学童保育 1 路線 大平学童保育 1 路線	<ul style="list-style-type: none"> 二本松市内の学童保育 5 箇所において学童保育タクシーの運行がある。
	安達地域	渋川学童保育 1 路線	
	岩代地域	岩代学童保育 1 路線	
	東和地域	東和学童保育 1 路線	
	合計 5 路線		
② サービス水準	運行回数は必要に応じ運行		<ul style="list-style-type: none"> 運行回数は、下校時間にあわせて 1～2 回程度である。
③ 利用生徒数	二本松地域	19 人	<ul style="list-style-type: none"> 利用生徒数は全体で 42 人である。
	安達地域	10 人	
	岩代地域	5 人	
	東和地域	13 人	
	合計 47 人		
④ 市の財政負担状況	二本松地域	1,474,920 円	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育タクシーの市の財政負担は年間約 690 万円となっている。
	安達地域	—	
	岩代地域	2,890,440 円	
	東和地域	2,570,400 円	
	合計 6,935,760 円 (一人一年当たり換算負担額約 147,569 円)		